

磐田 NPO 交流センター通信

●磐田NPO交流センター通信 第2号 平成13年12月15日発行

●発行者／磐田市総務部地域振興課 〒438-8650 磐田市国府台3-1 TEL(0538)37-4811

●編集／磐田NPO活動推進協議会 〒438-0078 磐田市中心街112-4 TEL(0538)36-1890

磐田NPO交流センター開所一周年を記念して 交流フォーラム『これからのまちづくりにむけて』が開催される



稲垣英樹氏は、NPO法人ヘルスブレインネットワーク副理事長とNPO法人しずおかMSO常務理事と、二つのNPO法人の要職の傍ら、浜松市立可美小学校PTA会長をされており、NPOの発展とそこからPTAなど地域へまたこどもたちへという発想はなかなか興味深いものでした。

長橋孝行氏は、今なにかと話題にのる富士宮やきそば学会から参加頂き、なぜやきそばでまちおこしなのか、やきそばソングやビール会社が製作したやきそばとビールのポスターなどを材料にユニークなお話が聞けました。

磯崎剛氏は、日本ボランティアコーディネーター協会・グラウンドワーク三島から、参加頂き、ポ

磐田NPO交流センター開所1周年を記念し、9月16日(日)に「これからのまちづくりに向けて」と題して、交流フォーラムを開催いたしました。来賓に鈴木望市長をお迎えし、第一部・県内市民活動実践者の活動紹介と、パネルディスカッションにて、今後の展開などを聞かせて頂きました。パネルの4氏は、県内で、NPO法人やまちづくり団体の運営を主体的にされており、山中恵美子氏は、浜松市でNPO法人リサイクル運動市民の会静岡県本部の理事長として、リサイクル・リユースの活動を10数年前からされていて、ジヤスコでのフリーマーケット等でも磐田市にはおなじみの方です。



ランティアの立場から、県内のNPOを引く張るグラウンドワークまでの幅広い活動を紹介してくれました。グラウンドワーク三島は、数千円単位の公園整備計画を行政より受託し、設計図を覆し、地域の方といっしょになって整備を進めているということ、改めて驚きを感じました。

第2部は、参加者の交流会を、講師を各テーブルに迎え、自由討議で行いました。熱心な講師の方々のお話に、参加してもらえた50数名の皆さんには、それぞれの活動への取り組みの発想・視点の幅を広げられる機会にもなり、有意義なフォーラムとなったことと思

います。
交流会では、少し時間が不足し、

話たりなかった様子の方も見受けられました。NPO活動推進協議会では、いろいろな角度から市民活動をしているみなさん、また、そこに興味をもたれた市民の方に、今回のフォーラムを企画いたしました。今後も今回の反省点もふまえ、多彩なフォーラムを開催したいと思えます。みなさまの参加お待ちしています。参加いただいたみなさん、ありがとうございます。

クリスマスフォーラム 「阪神大震災の 経験から」開催

平成13年12月23日

PM11:30

磐田NPO交流センター2F
今年度2回目のフォーラムを
右記日程で開催

講師は、阪神大震災で大活躍された大阪ボランティア協会の事務局長・早瀬昇氏

静岡でも東海地震のうわさが聞こえ久しいですが、ボランティア・NPO区別なく、突然訪れた災害にどう対応してきたのか、参加者との対話型のフォーラムでお聞きします。みなさんの参加お待ちしています。



磐田NPOの交流センターに集まれ!

磐田NPO交流センターは、平成12年9月に全国でも珍しい公設民営の施設として、様々な分野のNPO・市民活動団体・ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点になるべく開設しました。多様な市民活動がさらに活発になるように支援を行うとともに、新しい社会システムの一翼を担い、「市民主導のまちづくり」の構築の一助となるという願いがこめられています。現在、センターの運営は、利用者の団体で組織された「磐田NPO活動推進協議会」が市の委託を受け、行っています。

「磐田NPO交流センター」の機能は、次の対応です。

1 市民活動の場の提供
センター内には、会議室・印刷機の設備が整い、利用者登録をすればそれらを自由に利用することができます。

2 市民・企業・行政の連携及び交流の推進
NPOとNPO、NPOと自治体、NPOと企業といった、それぞれに活動している組織やセクター間を、目的に合わせてコーディネート

ネットし、出会いの場を提供します。また、市町村を超えた市民活動のネットワークを構築していきます。



地域の方との交流（子ども会活動）

またセンター内では、各団体のチラシやパンフを掲示し、NPO関係の図書等を充実させます。

4 市民活動に係る人材の育成
組織としてのマネジメント力が問われるこれからの市民活動のために、資金調達、組織運営、財務管理、リーダー研修、スタッフ研修、ボランティアマネジメント、事業評価、事業開発などのプログラムを提供し、技術力を上げるお手伝いをします。

5 市民活動に関する相談
NPOに関する質問や法人化相談などをはじめ、市民活動に興味のある方に、団体の紹介等を行います。



磐田ふれあいチャリティーコンサート

社会は今、大きな変革の時代となっています。NPOは変革の時代にふさわしいツールといえます。市民の皆さんも「何故NPOが、なぜ交流センターが」という視点にたって考えていただきたいと思っています。



NPO交流フォーラム

NPO活動

市民が自主的に行う組織的な非営利活動

NPO
(民間非営利組織)

市民活動団体

ボランティアグループ

3 市民活動に関する情報の収集・提供

ニュースレターやFAX通信、地元情報誌やメディアへの情報提供など様々な情報を発信します。



夏のおたのしみ会・バーベキュー（子ども会活動）

今、私たちに求められるのは、自己責任です。自己責任のもとに社会をみつめ、変えようとする気持ちや住みよみ明るい「まち」づくりに繋がっていくのです。磐田NPO交流センター並びに「磐田NPO活動推進協議会」は、今回掲げた高い理想を目指していますが、まだまだ実現には、力が足りません。活動の大小にかかわらず、交流センターを利用していただき、仲間をつくり、大きな輪となつて、磐田市の市民活動をより活性化することに協力いただきたいと思います。皆様の来館、また、イベントへの参加などお待ちしております。



NPO法人「磐田NPOサポートセンター」

代表 表…石川 鈴子(いしかわ すずこ)
 事務局…磐田市見付1886-11
 TEL 21-1632

設立…平成11年10月18日
 構成…32名(男子4名・女子28名)
 活動目的・活動内容
 人の心を大切にする生き方を地域社会に作り出し、人が持つ本来の力を生かす活動を推進するため、当センターを設立しました。センターでは、様々な市民団体ボランティアを調査し、又、企業の心を模索しています。「市民のためのまちづくり」を目指して、これから、あなたの感性・創造力を基に、新しい市民団体を構築するためのお手伝いをしていきます。

NPOサポート事務局
 ・情報の収集、発信・相談業務・行政、企業のパートナーシップを推進するための諸活動・他団体とのネットワーク・市民活動のマネージメント
 ・在宅介護サービス事業
 ・在宅介護相談業務・ホームヘルパー派遣事業・ホームヘルパー養成研修事業
 ・保険福祉コーディネート・配食サービス

ボランティア推進連絡協議会

参加・協力方法
 どなたでも参加いただけます。有給スタッフ・ボランティアスタッフ募集中です。

正会員 1万円/年
 一般会員 3000円/年
 学生会員 1000円/年

代表 表…三倉 佐恵(みくら さえ)
 事務局…磐田市国府台5-18
 いわたボランティアセンター内
 TEL 37-6200

設立…昭和54年
 構成…28団体 720名
 活動目的・活動内容
 ボランティア団体の連携と福祉の増進/当会は、ボランティア団体の相互理解と連携を図り、活動の更なる推進に努めるとともに、福祉の増進及び地域福祉活動の推進に寄与することを目的に、活動しています。

ふれあい委員会
 季節に応じた活動、行事に市民やボランティアが集い、親睦をはかると共にふれあい、交流を深める。まちづくり委員会
 誰にとっても住みやすいまちづくりのために何ができるか考えよう。語り合おう。

情報連絡委員会
 より見やすく、より分かりやすく、より注目される情報誌を作る。

参加・協力方法
 磐田市内で活動している団体であれば加入できます。活動拠点のない団体、会員を増やしたい団体等、いっしょに活動しましょう。

会費等
 加入費用・会費等はおりません。

NPO法人「子どもの森」



代表 表…吉田 隆子(よした たかこ)
 事務局…磐田市城之崎1-2-13
 TEL 36-1311

設立…平成12年7月
 構成…60名(男子20名・女子40名)
 活動目的・活動内容
 食を総合的な人間教育と捉えた「食育」を中心として、幼児期から健康教育の実践と啓蒙、研究を行っています。週2回の食育クッキング、夏と冬の特別企画や食育情報誌「いただきます」(ちそうさま)の発行、食育の出張講座を行っています。

参加・協力方法
 どなたでも参加いただけます。

正会員/入会金1000円
 年会費1000円
 準会員/入会金1000円
 年会費2000円
 まつぼっくりコース(未就学児)
 月会費2000円
 どんぐりコース(小学生)
 月会費2000円
 月会費2000円

NPO静岡総合学習センター
 代表 表…春日 雄二(かすが ゆうぞう)
 事務局…磐田市句坂中
 1445-12
 TEL 67-1048
 (童洋事務所)

こどもの森/食育クッキング

お茶屋

代表 表…山田 龍次(やまだりゅうじ)
 事務局…磐田市二之宮1418
 TEL 32-3881

設立…平成8年4月
 構成…146名(事務局スタッフ・ボランティア)

教育は本来学校だけが行うものではなく、三者が互いに協力し、もう一度現代の教育環境を見直す必要があるのではないかと私たちは考えています。様々な活動や体験の機会を提供しながら、子供たちの健全育成を支援していくことが求められているのです。

例えば、県下の学校・PTAを対象に子供たちが学ぶ様々な「機会」と物事に積極的に取り組む姿勢や表現力を育てる「場」を提案し、体験から「驚き・感動・発見」を子供たちの心と与えていくことで豊かな人格形成の可能性を養う学習事業を展開しています。

参加・協力方法
 私たちの組織では、行政部門が管理する従来型の教育制度や市場に依拠した民間教育産業などに限定しない地域教育の活動、いわゆる市民の学習コーディネート能力や市民的力量形成を培いながら広く市民に貢献していこうという考えをお持ちの方をお待ちしています。また野外活動に長く従事することで得た知識や経験、情報発信に有効なホームページ製作、広義の意味で地域社会のコミュニケーション形成能力等のスキル・専門技術をお持ちの方の参加もお待ちしております。お気軽にお問い合わせ下さい。

青空衆の活動

設立…平成12年5月
 構成…11名
 活動目的・活動内容
 中泉を流れる通称「久保川」は今之浦川・仿僧川を経て太田川になり太平洋に注いでいます。その久保川のいわゆる新幹線の南側で(1)我々の川から下流へ(海へ)ゴミを流さない。(2)川を心とむ場に戻す。(失った川の潜在能力を回復する)

(3) (1)、(2)の目標を地域から町全体、磐田市全域、太田川水系全体へと目差す。

ことを目的に、土手及び川の中、川の中は手漕ぎのボートにてゴミを回収しています。

参加・協力方法
 現在活動している仲間に参加することを意思表示して下さい、口頭で結構です。

原則的に月に一度土曜日の午前9時~11時までとされています。(遅刻早退自由です)

活動日に参加できた仲間が次月活動日を決めます。《土曜日が原則》活動の日に休んだ方には次月の予定日をお知らせします。

会費等
 現在、会費等はありません。参加の強制もありません。各員、都合がいたら参加する。

青空衆の活動



ボランティアとNPOの違い

民間非営利団体ということであれば、特殊法人も財団・社団法人も任意のボランティア団体もNPOと言えます。しかし、現状の各法人は監督官庁の認可制でそれぞれ中央に管理されているので、NPO法人とはややスタンスが異なります。

NPOでわかりにくいのは、ボランティアとの違いかもしれません。「あの団体はNPOのくせにお金を稼いでいるのはおかしい」とか、「ボランティアでやっているのだから収益事業を行わないのが当たり前」という言葉を聞くことがあります。これはボランティア活動の特徴である「無報酬性」とNPO活動の特徴である「非営利性」を混同しているために起こる誤解です。

非営利性というのは、団体としては活動経費や管理費などを稼ぐけれど、そこで余ったお金(収益)を仲間と分配しない(個人の懐に入れない)で、次の活動に使うことを意味しています。一方、無報酬性というのは、個人が働いたことの対価としてお金(報酬)をもらわないことを意味しています。ボランティアというのは「個人」に注目した言葉であって、NPOというのは、「団体」に注目した言葉であるということ

What's NPO?

です。

この場合、NPOが雇っている職員の給料というのは団体の経費であって、利益の分配にはあたりません。NPOにとっては、団体としてお金を稼ぎその団体の中に報酬をもらう職員と報酬をもらわないボランティアがいることがむしろ当然の姿といえます。

しかし、NPOというのは、ボランティアや会員が、何らかの社会目標を達成するために、自分たちだけではできない仕事をするために人を雇い、組織を作るわけです。NPOにおいては、仕事の内容や義務・責任は、ボランティアと職員では当然違ってくるものなのです。

また、ボランティアとNPOでは、ボランティアが活動に参加する側にあるのに対し、NPOはボランティアの参加する場を作る、参加を求める側であることも違いでしょう。

これらのことから、ボランティアグループとNPOでは、その組織のあり方、マネジメントなどが大きく異なってきます。

NPOにおいては、その目的達成と、組織の維持・管理・発展のために、資金と人材を広く調達し、人を雇うこともあれば、企業や行政と契約を結んだり、取引を行ったりすることもあります。

INFORMATION

○NPO静岡総合学習センター

学校を会場に、『科学実験教室』を開催してみませんか。様々な実験を通じて、多くの驚きと発見を学べます。対象小学一〜六年生、一学年単位で受付します。詳細は事務局まで。近年このような場所で実施しました/静岡市立長田西小学校体育館・教室/どまん中袋井「街道まつり(未来ゾーン)」事務局・

磐田市句坂中14445-2
TEL677-1048
(童洋事務所) 春日まで

○こどもかべ新聞展示会

14年1月13日(日)〜20日(日)
9:00〜17:00
最終日は15:00まで

会場 磐田市立図書館
市内各単位子ども会の活動の様子を、子どもたちの手でかべ新聞にしたものを展示。

主催 磐田市子ども会世話人連合会

問い合わせ 3514325
(生涯学習課:近藤)

○いわた地球村

14年1月15日/環境ホルモンが体に及ぼす害はどんな病気をひきおこすか

14年2月15日/オゾン層破壊によって引き起こす病気はどんなものがあるか。

14年3月24日/廃物利用による生ゴミ処理実演会

会場 NPO交流センター
19:00より21:00まで
問い合わせ 3517465

伊藤まで

○こどもの森

13年12月22日(土)〜24日(月)
元気な心と体を育てる「食育展」
イメージキャラクター「げんキッズ」と「4つのおさくら」からの楽しい食育の体験の場です

会場 月見の里
(袋井市上山梨32-1)

問い合わせ 3611311
NPO法人こどもの森

○焼いも会

14年1月14日(月)成人の日
9:00〜15:00頃(準備5片付けまで)

目的 参加者同士の交流
会場 大池北側
会費 実費

主催 いわた中泉コンソーシアム
問い合わせ 3213670
代表/三輪邦子(携帯090

1175912402)

編集後記

編集スタッフ一同初めての共同作業ということで、とまどいながらもなんとかこの「磐田NPO交流センター通信第一・第二号」を予定通りに発刊できました。

実はこの作業に携わった私達は、これまではそれぞれが別々に活動をしていましたが、この交流センターができたことによって自主的に集った者です。

磐田NPO交流センターのめざすものの一つは、人と人とを結んで輪を作り大きく成長する手助けをすることです。

読者のなかで、NPO活動やボランティア活動に興味の有る方、既に活動をしている方々の参加をお待ちしています。

どうぞ気軽に「磐田NPO交流センター」にお立ち寄り下さい。

